

伝統楽器から知る西アフリカの音楽



2025

6/11(水)

12:40p.m～

2:10p.m (日本時間)

場所：【対面開催のみ】

115教室

(研究講義棟1F/

東京外国語大学・府中キャンパス)

言語：日本語

参加費：無料

講演者：杵淵ちひろ (コラ奏者)

コラは西アフリカに伝わる伝統楽器で、21本の弦を持つハープの一種。カラバッシュ（ひょうたん）と牛革で作られ、優雅で繊細な音色が特徴。語り部グリオによって演奏される。本公演では日本で数少ないコラ奏者の杵淵ちひろさんにコラの歴史やセネガルでの活動についてお話いただく。アフリカや音楽について考えましょう。

[事前のお申込みはこちら]



<https://forms.gle/qsmvrhi4NNBWLHkt8>

杵淵ちひろ (キネブチチヒロ)

東京墨田区生まれの杉並育ち。アフリカ音楽の魅力を伝えるコラ奏者であり、イベントオーガナイザー。幼少期から音楽に親しみ、ニューヨークでアフリカ音楽と出会い、その情熱をさらに深める。

演奏を始めてからは、レストランやカフェでの演奏から、各種イベント、動植物園、船上まで、様々な場所での演奏を経験。丁寧な、歌の内容や文化的背景の説明を交えた演奏が好評。伝統曲を歌う歌声は現地のミュージシャンたちからも高く評価されている。

2022年に任意団体「Chez Adama」を設立し、日本を拠点に多様なアフリカンイベントを企画することで、その魅力を伝えてきた。2023年には国鑑NEO「音楽」（小学館）にコラと自身が掲載され、日本の子供たちにコラの音色を届ける機会を得る。2024年10月には、杉並区に「一般社団法人あなたとアフリカをつなぐ応援団シェ・アダマ」を設立、代表理事として「アフリカの音楽」を軸に、「知る」「つながる」「共に楽しむ」を大切に活動を推進している。



現代アフリカ地域研究センター

African Studies Center-TUFS

African Studies Center -Tokyo University of Foreign Studies

Tel: +81 42 330 5540 Fax: +81 42 330 5884

Email: asc@tufs.ac.jp

Website: <http://www.tufts.ac.jp/asc/>